

「御浜町立小・中学校適正配置基本計画」へみんなの想いや考えを！

～御浜町の魅力ある学校づくりに向けて～ 《児童・生徒アンケート集計結果》

令和7年2月

御浜町教育委員会

集計結果より：

8項目すべてにおいて、児童生徒の60%以上（62%～88%）が肯定的な意見を選択してくれました。一方で、否定的な意見は6項目において10%以下（4%～9%、②20%・⑥13%）となっています。このことから、児童生徒たちはこの基本計画におおむね賛成してくれていると考えられます。

また、“御浜町の魅力ある学校づくりに向けて”子どもたちが一生懸命考えてくれた「意見」についても、新しい学校の開校に向け、大いに参考にさせていただきたいと思えます。

* 調査対象：

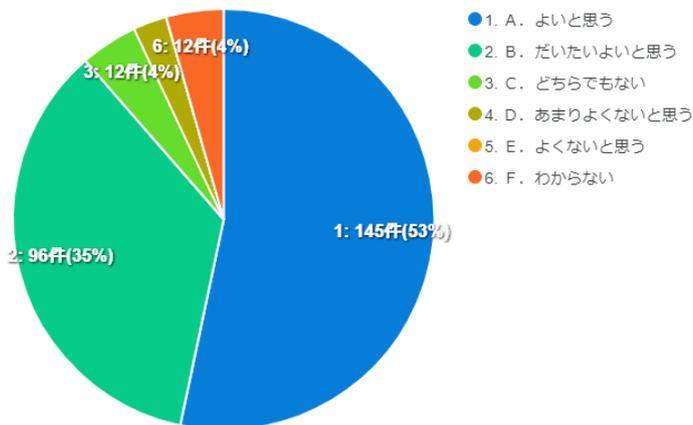
・町内の小学5・6年生と中学生（対象者数306名） ・回答数273（89%）

* 回答方法：

8項目の設問について、次の1～6の中から自分の想いや考えに一番近いと思うものを選択

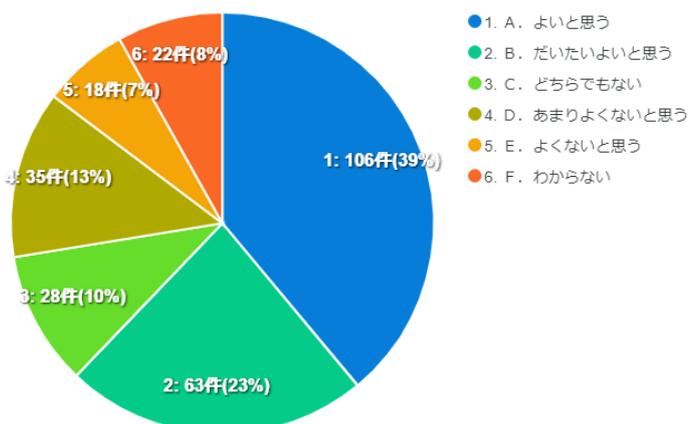
1. よいと思う 2. だいたいよいと思う 3. どちらでもない
4. あまりよくないと思う 5. よくないと思う 6. わからない

① 学校を統合しても子ども一人ひとりの個性やニーズに応じて行きたい学校を選べるようにする。（校区の自由化という）



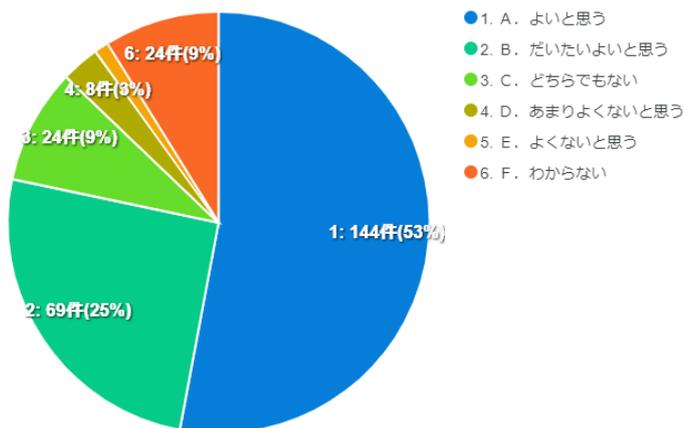
	件数	%
1.よい	145	53%
2.だいたいよい	96	35%
3.どちらでもない	12	4%
4.あまりよくない	12	4%
5.よくない	7	3%
6.わからない	12	4%

② 今のままだと児童生徒数が減り学校もどんどん小さくなっていくが、クラス替えのできる1学年2クラス規模の大きな学校を作るために、神志山小・御浜小・阿田和小の3校と統合して小学校1校、御浜中・阿田和中の2校を統合して中学校1校にする。



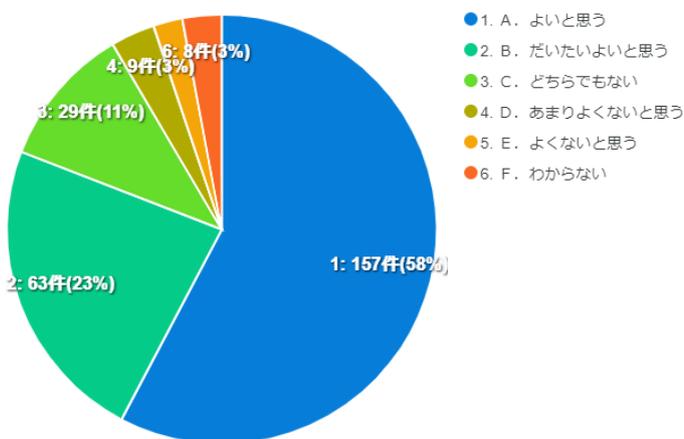
	件数	%
1.よい	106	39%
2.だいたいよい	63	23%
3.どちらでもない	28	10%
4.あまりよくない	35	13%
5.よくない	18	7%
6.わからない	22	8%

③ ていねいな少人数での教育を受けたいという子どもや保護者の希望に応えるために、規模の小さな学校である現在の尾呂志学園小学校・中学校はこれからも継続する。



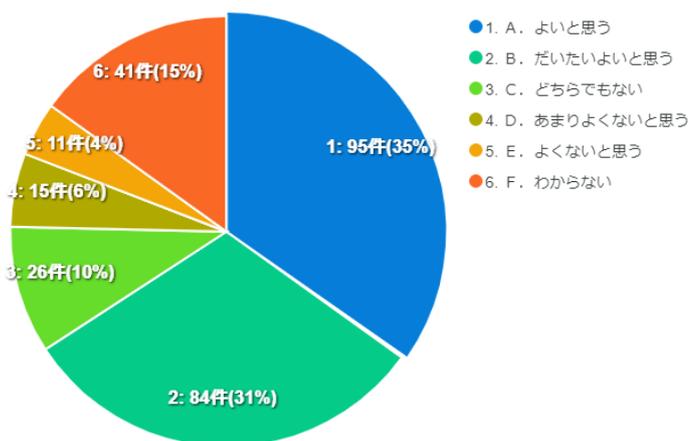
	件数	%
1.よい	144	53%
2.だいたいよい	69	25%
3.どちらでもない	24	9%
4.あまりよくない	8	3%
5.よくない	3	1%
6.わからない	24	9%

④ 津波や土砂災害などの防災上の課題や古くなった校舎の課題を解消するために、できるだけ早く新校舎を建設してから学校を統合する。(統合より先に新校舎を建設)



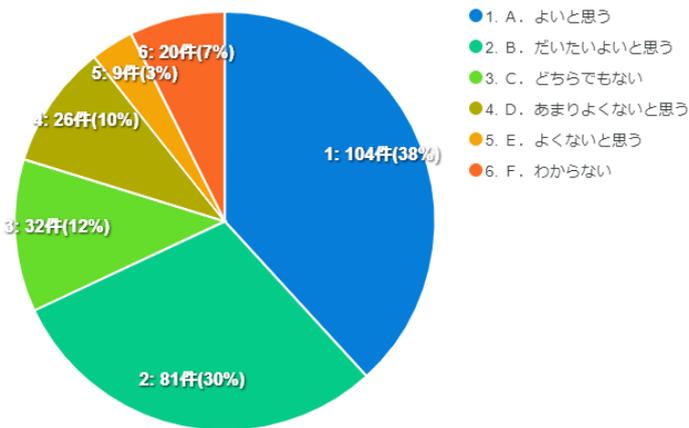
	件数	%
1.よい	157	58%
2.だいたいよい	63	23%
3.どちらでもない	29	11%
4.あまりよくない	9	3%
5.よくない	6	2%
6.わからない	8	3%

⑤ これまで尾呂志学園において、小学校と中学校が協力・連携して進めてきた小中9年間を見通した系統的な教育を参考にして、新しく建設する1学年2クラス規模の小学校・中学校も小中9年間の途切れのない教育(小中一貫教育)に取り組み、特色のある学校として御浜町全体の学校の魅力を向上させる。



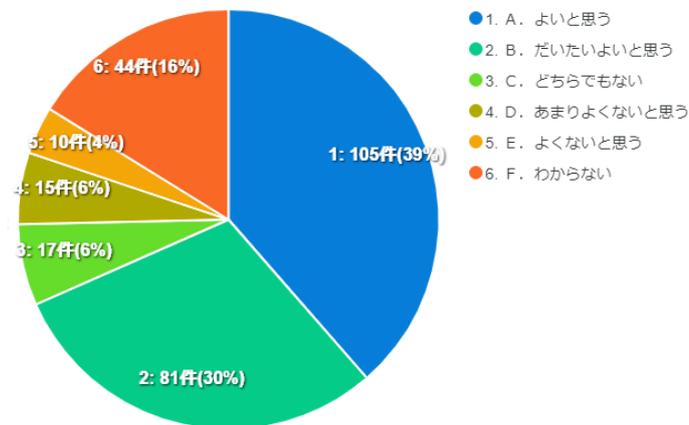
	件数	%
1.よい	95	35%
2.だいたいよい	84	31%
3.どちらでもない	26	10%
4.あまりよくない	15	5%
5.よくない	11	4%
6.わからない	41	15%

⑥ 少しでも早く少子化・防災・校舎老朽化などの課題を解決するため、小学校と中学校を一緒の場所に建設して、できるだけ早く新校舎を完成させる。(小中併設校)



	件数	%
1.よい	104	38%
2.だいたいよい	81	30%
3.どちらでもない	32	12%
4.あまりよくない	26	10%
5.よくない	9	3%
6.わからない	20	7%

⑦ 新校舎の建設候補地については、次の表⑦のように3か所についてそれぞれ5つの条件を検討した結果、児童生徒や町民にとって魅力のある学校を建設するために、次ページの図⑦の「B. 市木地区(南平)」を建設候補地とする。

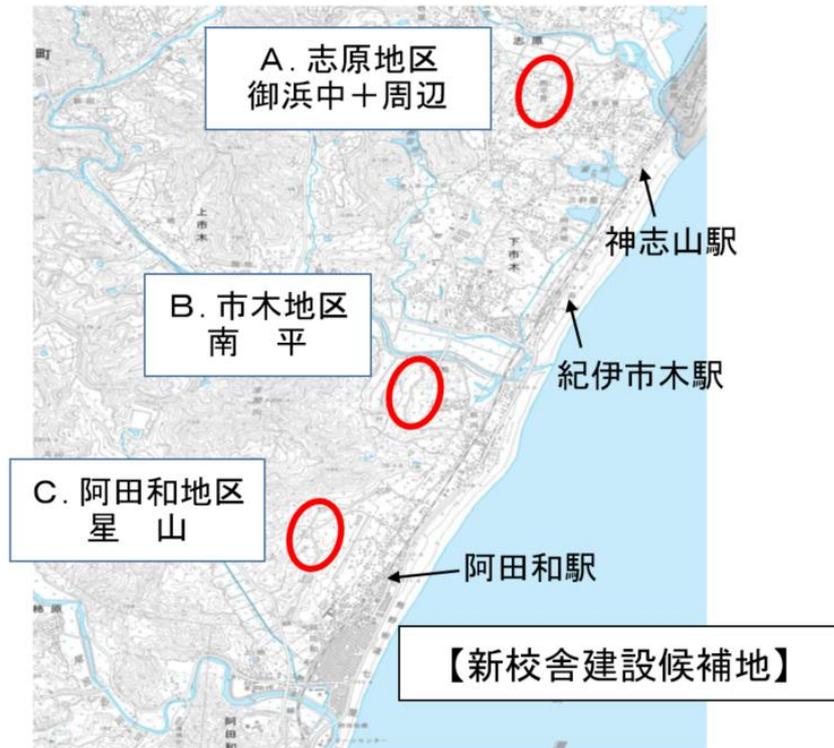


	件数	%
1.よい	105	38%
2.だいたいよい	81	30%
3.どちらでもない	17	6%
4.あまりよくない	15	5%
5.よくない	10	4%
6.わからない	44	16%

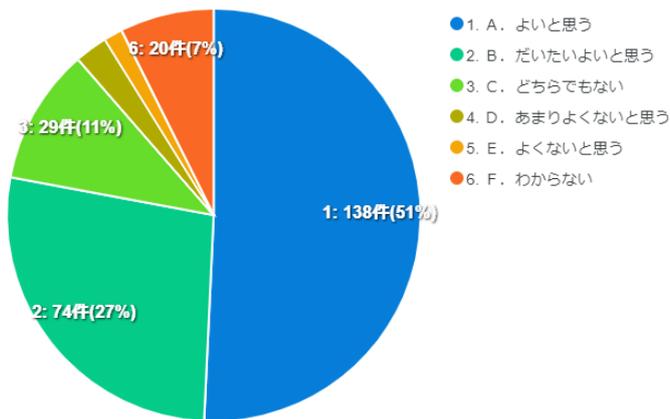
表⑦

候補地 条件	A. 志原地区 (御浜中+周辺)	B. 市木地区 (南平)	C. 阿田和地区 (星山)
高台 (優先)	現在の御浜中は海拔およそ28m	海拔 30m以上の高台にある	海拔 30m以上の高台にある
広さ (優先)	現校地だけではおよそ24,000 m ² しか確保できない	40,000 m ² 以上の用地を確保できる	40,000 m ² 以上の用地を確保できる
用地取得	用地の追加取得が必要 *住宅地および農地	全用地の取得が必要 *農地(住宅地はない)	全用地の取得が必要 *農地(住宅地はない)
交通事情	御浜中前の県道は整備されており、スクールバスの乗降も安全	阿田和方面からの町道がせまい(将来は県道開通予定)	今後は県道開通予定、町道紀南病院線の道幅を広げて整備する予定
通学距離	阿田和方面からは遠い	町内海岸沿いの中心付近	市木・志原方面からは遠い

図⑦



⑧ 新校舎の建設場所にもよるが、統合すると通学距離が長くなることが考えられるので、新校舎へは次の表⑧のように通学する。



	件数	%
1.よい	138	51%
2.だいたいよい	74	27%
3.どちらでもない	29	11%
4.あまりよくない	7	3%
5.よくない	4	1%
6.わからない	20	7%

表⑧

区分	通学方法
小学生	徒歩通学を基本とし、通学距離がおおむね2～3km以上の児童はスクールバス通学の対象とする（今後も2kmまでに短縮できるよう検討）
中学生	自転車通学を基本とし、通学距離がおおむね4～5km以上の生徒はスクールバス通学を選択できる（今後も4kmまでに短縮できるよう検討）
※尾呂志学園への町内校区外からの通学は、小・中学生ともにスクールバス通学 ※スクールバスを利用する場合も、通学時間はおおむね30分以内 ※乗降場所は、学校や公民館など安全が確保できる広い場所	

※そのほかに意見があれば書いてください。

トイレが綺麗がいいと思う
小中一貫にして校舎を一つにしたほう良いと思う
阿田和のところは市木や神木、志原の人たちは遠くなるから反対。
校舎を建てるのも反対ですし小中学生合併は色々問題などが起こると思います
近いところに避難場所がないので阿田和（星山）に建設してほしい。
御浜中学校は阿田和と統合するのではなく尾呂志と統合するのが良いと思う。
生徒のみんなが体を動かされるように、遊具や、広い校庭を確保してほしい。
運動場はなるべく大きくしてほしい
制服可愛く
椅子や机、その他の設備や道具を快適な学校生活を送れるように新しい物にほしい
建設コストを減らすために少し土地を減らす。浮いた金で校舎の設備をよくする
できるだけ早く新しい学校をつくってほしい
バスでは、あまり登下校はしないほうが良いと思う。事故などが起きたときとうりみちなどが塞がれたりけがをしたりするかもしれないから。
親の思いや考えを聞いたほうが良いと思う。子ども達が安心して学校生活をおくるのがいちばん大切だと思う。
教室広くしてほしい
楽しく学校に行けるように時々楽しい事を学校側で考えれば良いと思う。(みんな遊びなど)
9年間とぎれのない学校するには小学校の校舎と中学校の校舎を分けたほうが良いと思う。中学校にあがったときに「中学校に上がった」というじっかんがあるから
先生たちの負担が多そう
震災が来て、衣食住がない人のためにテントや食料などを大量に保管できる倉庫がいると思う。バスはお金がかかりそう。体育館を避難場所にするならもっと大きくしたほうが良いと思う。費用は税金なのか、土地がなかったらどうするのか。子どもがもっと少なくなる前に早く建てたほうが良いと思う。
みんな楽しく授業できると思った。中学校は、2校で良いと思った。
もし、御浜と阿田和と神志山がつながったら、休み時間などに一人でいる人が出てきてしまうんじゃないかと思った。
スクールバスの乗降場の位置は主に広く、安全面がきちんと取られる場で、少し遅い時間でも明かりがついているのが良いと思った。
みんながたのしくとうこうできるようにする
楽しいがっこうにほしい
みんなが登校しやすい道にする
新校舎を早く建設したら、きれいな学校になって、学校の良い宣伝になって、人も集まってくるかもしれない。建設場所は、どこからもなるべく近いほうが良いから、真ん中の方のBが良いと思う。
小学生の人数が、多いのは、いいことだけど多すぎてもだめな気がする。
いろんな友達に出会えるからいいとおもった。
今後使われなくなる校舎をどうするか
家が遠い人もいると思うので小規模の学校も必要だと考える。